

あなたの「学びたい」を支援します ～ 修学支援制度 ～

高等学校等就学支援金

高等学校等に在学している生徒に対して、授業料に充てる支援金を支給し、家庭の教育費負担を軽減するための制度(返済は不要)です。

受給資格

- 生徒が高等学校、専修学校高等課程等に在学していること。
- 生徒が日本国内に住所を有していること。
- 保護者等の市町村民税の課税標準額に6%を乗じた額から市町村民税の調整控除額を差し引いた額(両親がいる場合は2名の合算額)が304,200円未満であること。

支給額

	全日制	定時制	通信制	
公立	9,900円/月	2,700円/月	単位制	1単位 310円
私立	9,900円/月 (年収590～910万円未満程度)	—	単位制	1単位 4,812円
			上記以外	9,900円/月
	33,000円/月 (年収590万円未満程度)	—	単位制	1単位 12,030円
			上記以外	24,750円/月
<青森県私立高等学校等就学支援費補助金> 年収590～710万円未満程度の場合、県が上乗せして補助します。 (9,900円/月(全日制の場合)) また、生活保護受給世帯及び非課税世帯の場合には、新一年生の入学金についても支援します。(上限50,000円/年)				

※保護者等の離職や傷病等、家計が急変した世帯のための支援制度もあります。

申請手続

在学する学校から申請手続きのお知らせがありますので、それに従って申請手続きを行ってください。

問(公立)各公立高校又は教育庁学校施設課 TEL017-734-9873
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-shisetsu/koutougakkoutousyuugakusienkinn.html>



(私立)各私立高校又は子ども家庭部県民生活推進課 TEL017-734-9869
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kodomo/kenmin/Aomori_syugakushien.html



高校生等奨学のための給付金

授業料以外の教育費負担を軽減するため、一定の要件を満たす高校生等の保護者等に給付金を給付する制度(返済は不要)です。

給付要件

- 高校生等が高等学校等に在学していること。
- 高校生等が高等学校等就学支援金の受給権者、学び直し支援金の受給権者又は家計急変世帯への支援として実施した授業料減免措置の受給権者であること。
- 高校生等が平成26年4月1日以降に高等学校等に入学した者であること。
- 保護者等が青森県内に住所を有していること。
- 基準日(原則7月1日)において、生活保護法による生業扶助を受けていること又は基準日の属する年度分の保護者等全員の道府県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税であること。

給付額

対象者	国公立(年額)		私立(年額)	
	通信制以外	通信制	通信制以外	通信制
生活保護(生業扶助)受給世帯	32,300円	32,300円	52,600円	52,600円
非課税世帯	第1子の高校生等	122,100円	50,500円	142,600円
	第2子以降の高校生等	143,700円	50,500円	152,000円
	専攻科に通う生徒	50,500円	52,100円	

※保護者等の離職や傷病等、家計が急変した世帯のための支援制度もあります。

申請手続

在学する学校から申請手続きのお知らせがありますので、それに従って各学校へ申請書類を提出してください。

問(国公立)各公立学校又は教育庁学校施設課 TEL017-734-9873
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-shisetsu/shougakukyuuufukin.html>



(私立)各私立学校又は子ども家庭部県民生活推進課 TEL017-734-9869
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kodomo/kenmin/Aomori_syugakushien.html



※ 上記の内容は、令和6年度のものであり、国の制度改正などにより内容が変更となる場合があります。

大学奨学生募集 ～大学在学中に必要な経費に充てるための無利子の奨学金です～

申込資格

令和7年4月に大学入学見込みの方で、保護者が青森県民であり、他の団体等から奨学金の貸与予定がない方(併願はできますが、併給はできません。ただし、給付型に限り併給が可能です。)

募集人員

90人 貸与月額及び貸与期間 月額44,000円 4年間(医学科等は6年間)

返 還

無利子で、貸与終了後1年据え置き、貸与期間の2倍の期間内(ただし、8年を超える場合は8年間)で全額返還。また、失業等で返還が困難になった場合は、返還猶予制度があります。

貸与総額 (4年間貸与)	返還 年数	月賦の場合		半年賦の場合		年賦の場合	
		金額	回数	金額	回数	金額	回数
2,112,000円	8年	22,000円	96回	132,000円	16回	264,000円	8回

申込方法

県内の各高校及び各教育事務所にある願書に必要事項を記入の上、添付書類とともに、令和7年3月に高校を卒業予定の方は**在学が指定する期日**までに同校へ、それ以外の方は令和7年3月25日(火)までに青森県育英奨学会へ提出してください。

詳細はHPでもご確認ください



問 青森県育英奨学会(教職員課内) TEL.017-734-9820

教育支援資金

低所得者世帯の方々にお子さんの修学資金の貸付を行います。

対 象

他の貸付制度の利用が困難で、償還と自立が見込まれる低所得者世帯の方



貸与限度額

教育支援費/月		就学支度費
高等学校	35,000円以内	500,000円以内
高等専門学校・短期大学	60,000円以内	
大学	65,000円以内	

※教育支援費については、特に必要と認める場合に限り、貸与限度額の1.5倍の額まで貸付可能です。

返 還

無利子で、卒業後6か月以内据え置き、20年以内に返還。

申込方法

下記問い合わせ先までご相談ください。

問 お住まいの市町村にある社会福祉協議会又は、
青森県社会福祉協議会地域福祉課 TEL.017-723-1391(代表)

母子父子寡婦福祉資金(修学資金・就学支度資金)

母子家庭・父子家庭・寡婦の方々にお子さんの修学資金等の貸付を行います。

対象等

母子家庭の母が扶養する児童、父子家庭の父が扶養する児童、父母のいない児童又は寡婦が扶養する子

対象経費

修学するための授業料、書籍代、通学費等及び就学するための被服等の購入に必要な資金

返 還

無利子で、貸与終了後6か月据え置き、20年以内に返還

申込方法

お住まいの地区の右記問い合わせ先までご相談ください。(※青森市にお住まいの方は青森子育て支援課に、八戸市にお住まいの方は八戸市子ども家庭相談室に、お問い合わせください。)

貸与限度額

※高校、大学の場合は、下の表にかかわらず、実際に貸付を受けられる金額は、申請される方の所得や高等教育の修学支援新制度の対象となるかどうかにより変更となります。

<修学資金月額>:修学期間中、毎月貸付が行われます。

	国・公立		私立	
	自宅通学者	自宅外通学者	自宅通学者	自宅外通学者
高校	27,000円	34,500円	45,000円	52,500円
大学	71,000円	108,500円	108,500円	146,000円

<就学支度資金>:原則、就学前に1度のみ貸付が行われます。

	国・公立		私立	
	自宅通学者	自宅外通学者	自宅通学者	自宅外通学者
高校	150,000円	160,000円	410,000円	420,000円
大学	410,000円	420,000円	580,000円	590,000円

問	東青地域県民局地域健康福祉部福祉総室	017-734-9950	上北地域県民局地域健康福祉部福祉子ども総室	0176-62-2145
	中南部地域県民局地域健康福祉部福祉総室	0172-35-1622	下北地域県民局地域健康福祉部福祉子ども総室	0175-22-2296
	三八地域県民局地域健康福祉部福祉総室	0178-27-4435	青森子育て支援課	017-734-5334
	西北地域県民局地域健康福祉部福祉子ども総室	0173-35-2156	八戸市子ども家庭相談室	0178-38-0703

県教育委員会では、生徒の資質・能力の育成を図るため、「高等学校におけるICTを活用した資質・能力を育む授業づくり推進事業」を実施し、ICTを効果的に活用した授業づくりへの支援を行っています。

ICT活用の状況

令和5年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査(高等学校) (文部科学省)

	授業にICTを活用して指導する能力	児童生徒のICT活用を指導する能力
青森県	78.7	82.4
全国	80.6	83.3

※結果は速報値。「できる」「ややできる」と回答した教員の割合。

青森県では授業におけるICTの活用が進み、8割程度の教員が指導できるまでに到達しています。

その割合をさらに高めるため、積極的な活用を促しながら、教員のICT活用指導力の向上を後押しし、ICTを効果的に活用した教育活動の充実を目指す取組を行っています。



取組1 推進校によるICTを効果的に活用した授業実践事例研究

教科・科目ごとの特性を踏まえながらICTを効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びにつながる授業づくりを研究しています。

教科別に8校の県立高等学校を推進校とし、事例研究を進めています。

青森県総合学校教育センター指導主事を推進校に派遣し、ワーキンググループ会議を実施

学習活動の設定

「個別最適な学び」「協働的な学び」の視点

単元ごとの指導と評価計画を考える

3つの評価の観点(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)をバランスよく見取る

ICT活用事例について話し合う

- 生徒の学習改善
 - 教員の指導改善
- を支えるには?



先進校視察

先進的にICTを活用している県外の高校等を視察し、授業づくりに活かします。

研究授業

ICTを活用した研究授業を実施し、その効果を検証することで、よりよい授業を目指します。

<昨年度推進校での事例>

- Google Jamboardを使用したグループ内協議
- ロイロノートによる創作物の共有と相互鑑賞
- Google Formsによる学習の振り返り など



Pick up

ICT先進校視察

県立三本木高等学校では、令和5年に東京都立三鷹中等教育学校と広尾学園中学校・高等学校を視察しました。

ICTを使った授業や活動の見学をとおして、ICTの活用の好事例を学び、生徒の様々な活動を支えるICTの可能性を感じる視察となりました。

三鷹中等教育学校



生徒が読んだ本についてまとめた内容を発表し、ビブリオバトルをしていました

オールイングリッシュの授業でも、ICTを活用

広尾学園中学校・高等学校

取組2 教員研修への支援

教員のICT活用指導力を伸ばすための教員研修を支援しています。

校内研修支援

教員のICT活用状況に応じた直接の研修機会を確保できるよう、外部講師による校内研修等の実施を支援しています。

ICT活用エキスパート育成のための研修実施

「Google 認定教育者資格」レベル1及びレベル2の取得のための研修を実施し、校内におけるICT活用推進の中心的教員を育成しています。

取組3 ICT活用教育研究協議会の開催

ICTを効果的に活用した授業づくりについて、各校の情報を共有し、協議します。



推進校による成果発表

推進校における研究成果を全県立高校で共有し、各校にフィードバックすることを目指します。

令和6年度推進校
八戸西 七戸 大湊 青森中央
五所川原 名久井農業 青森工業 八戸商業

分科会協議・全体協議の実施

ICTを活用した生徒の資質・能力を育む授業づくりについて、各校の実情や課題を共有しながら協議します。

問 学校教育課 高等学校指導グループ TEL. 017-734-9883

青森県立図書館のオンライン貸出サービスについてお知らせします!

? オンライン貸出サービスとは?

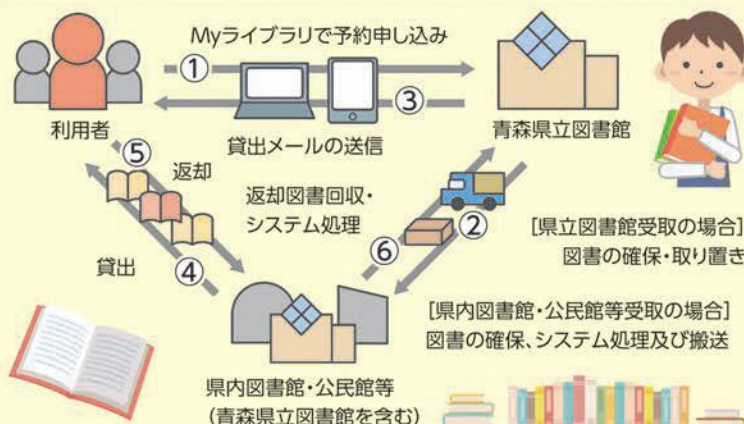
青森県立図書館の本をインターネットで検索し、予約のお申し込みができるサービスです。予約された本は、青森県立図書館またはお近くの貸出協力館で受け取ることができます。ご利用には、「Myライブラリ」のお申し込みと、ご登録手続きが必要です。

県立図書館でお受け取りの方

メール送信日の当日から受け取ることができます。
詳しいご利用方法等については、当館ホームページをご覧ください。

県立図書館以外の図書館でお受け取りの方

県立図書館での貸出処理日は、毎週木曜日です。
メール送信日の翌日(毎週日曜日)から、予約の際に指定された貸出協力館で受け取ることができます。



詳しくはこちらから!

オンライン貸出サービス

Myライブラリの使い方



問 青森県立図書館 奉仕課 一般閲覧室 カウンター直通 TEL. 017-729-4300

私たち、みんな活動しています! ~青森市立三内小学校~

青森市立三内小学校では、平成29年度から学校全体で児童の読書活動を推進しています。この取組が評価され、**令和6年度 子供の読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰**を受賞しました。

図書委員会の児童や教員、図書ボランティアの方々を中心として、学校全体を「学校図書館」と捉え、日常的に読書に親しむ雰囲気づくりに取り組む同校の様子をご紹介します!



児童による読み聞かせ会



「子ども読書の日」のイベントとして実施しています。

毎年春は「ブックカフェ」を開催しています

先生がおすすめする本を展示! 児童は自由に本を借りられます。



本を読んだ児童の感想も掲示します。

どんな本があるかな? 展示が楽しみ!



同校では、上記の取組の他にも、1人1台端末を活用した読書記録(3年生以上)、全校一斉の毎朝10分間の朝読書、図書ボランティアによる月1回の読み聞かせと本の整備の実施など様々な取組を行うことで、読書の質を向上させ、児童の学びを充実させています。また、学年ごとの読書量の目標を達成した児童への表彰等を通じて、読書意欲の喚起も図っています。

同校の児童一人当たりの年間貸出冊数は32冊(平成28年度)から60冊(令和4年度)に増えており、取組の着実な成果が表れています!



X・Instagramでも **情報発信中!**



図書館・近代文学館からのお知らせ

◆おはなし会

読み聞かせボランティアと図書館職員による絵本の読み聞かせや、子供たちからリクエストのあった絵本の紹介を行います。

●日 時/令和6年12月14日(土)、令和7年1月11日(土)
令和7年 2月 8日(土) いずれも14:00~14:30

●場 所/青森県立図書館 児童閲覧室おはなしコーナー

◆おしえて先生!知るしるする探検隊

科学の実験やいろいろな仕事の人の交流、スポーツなどの体験、本の紹介などを行います。

●日 時/令和7年1月25日(土)「あおりの野鳥」14:00~14:30
令和7年2月22日(土)「じょうもんしおをつくろう」14:00~15:00

●場 所/青森県立図書館 児童閲覧室おはなしコーナー

◆企画展「あおりの校歌」

青森ゆかりの作家や著名な作家が作詞した県内各地の校歌を調査し、作家と学校との繋がりについて紹介します!

なつかしい校歌に出会えるかも?
ぜひご覧ください!

●期 間/令和6年12月7日(土)~令和7年3月23日(日)
●場 所/青森県近代文学館(青森県立図書館2階)

北村小松「八戸高等学校校歌」



問 青森県立図書館 TEL.017-739-4211
<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/>

青森県立郷土館 土曜セミナー

郷土館職員が、郷土の歴史や文化、自然などをテーマにして楽しくわかりやすくお話しする講座です。どなたでも受講できます。なお、当セミナーは「あおり県民カレッジ」の単位取得講座(1回2単位)です。令和7年2月までの実施日は以下のとおりです。

●期 日/令和6年12月21日(土)「写真絵はがきと青森の風景」
令和7年 1月25日(土)「養蚕山人と青森」
令和7年 2月 8日(土)「外ヶ浜町大平山元遺跡の魅力」

●時 間/13:30~15:00(受付時間13:00から)
●場 所/青森県総合社会教育センター4階 第2多目的研修室

●受 講 料/無料 ●定 員/40人(当日先着順)

※詳細については当館ホームページでご確認ください。

問 青森県立郷土館 TEL.017-777-1585
<https://www.kyodokan.com>



青森県立郷土館 冬休みづくりまわし大会

郷土の伝統的な冬の遊び「づくり」(こま)をまわす体験をしていただきます。当館職員がまわし方を教えるので初めてでも大丈夫!付き添いの大人の方や幼児も体験できます。また、記録会を行い、参加者全員に参加賞、記録会の1~3位入賞者には賞状と賞品があります。

●開催日時/令和7年1月12日(日) 13:30~15:30
●場 所/青森県総合社会教育センター2階 大研修室
●対 象/小学生(定員25人) ●参 加 料/無料
●申込期間/12月10日(火)~20日(金)
※詳細については当館ホームページでご確認ください。



問 青森県立郷土館
TEL.017-777-1585
<https://www.kyodokan.com>



企画展「衣食住から探る縄文人の暮らし」開催!

三内丸山遺跡の遺構や出土品は、縄文時代の人々の生活の様子を考える上で重要な役割を担ってきました。

この企画展では、三内丸山遺跡の調査研究の成果をもとに、縄文人の衣食住について具体的に迫ります。

●開催期間/令和7年3月9日(日)まで
●観 覧 料/常設展観覧料でご覧いただけます。
(一般/410円、高校生・大学生等/200円、中学生以下無料)

問 三内丸山遺跡センター TEL.017-766-8282
<https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/>



青森県営スケート場 クリスマスイベント

人気の初心者スケート指導タイムや、皆さんに楽しんでいただけるイベントを企画しています!

イベントに参加した方には全員にお菓子をプレゼントします! 運がよければアルファくんサンタに出会えるかも?

事前申し込み不要で参加できますので、お気軽にご参加ください! 詳しくは、青森県営スケート場HPをご覧ください。

●日 時/12月22日(日) 12:00~

問 青森県営スケート場
TEL.017-739-9500
<http://aomori-skate.com/>



「地元の縄文」再発見フェアinとうせい・あおり発掘フェア2024 同時開催!

「地元の縄文」再発見フェアinとうせいは、東青地域(青森市と東津軽郡)にある縄文時代の遺跡や遺物(「地元の縄文」)について、展示会・体験活動・講演会/シンポジウム等を通じて身近なところに縄文時代の遺跡や遺物があることをわかりやすく伝えます。

またあおり発掘フェア2024は、今年度県内で行われた埋蔵文化財の発掘調査の最新の成果を伝えます。

●日 時/令和6年12月21日(土)~22日(日)
(両日とも9:30~17:00)

●会 場/青森県総合社会教育センター

●参 加 費/無料

●申 込/不要

●内 容/①「地元の縄文」再発見フェアinとうせい



・出土品展示会(東青地域から出土した縄文遺物や遺跡写真)

・体験学習会(縄文遺物に触る・弓矢・火おこし・木の実割り体験・縄文土器クイズ等)

・講演会・事例報告・シンポジウム(22日(日))

②あおり発掘フェア2024

・発掘調査出土品及び調査写真パネル展示(21日は、12:00~)

・発掘調査等成果報告(21日(土))

★来場者にはあおり縄文カードを配布します!

問 青森県埋蔵文化財調査センター
TEL.017-788-5701
<https://www.ao-maibun.jp>



エンジョイ! 雪遊び

●期 日/令和7年2月1日(土)・2日(日) ※どちらか1日

●対 象/4歳以上のお子さんとその家族

●募集人員/各日100名

●内 容/スノーチューブすべり、そり遊び、たこあげなど

●募集期間/1月8日(水)~10日(金)

※詳しくはホームページをご覧ください。



問 種差少年自然の家 TEL.0178-38-2131
<https://www.tanesashi.jp>



〈広告〉県では、財源確保などのため広告を掲載しています。なお、掲載する広告は、青森県が推奨するものではなく、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



生活がより良くなる、
シンプルな暮らしを。

株式会社リノベアーズ

〒038-0024
青森県青森市浪館前田2丁目4-15
TEL:017-718-5447

- 01 新築注文住宅
- 02 リフォーム・リノベーション
- 03 外構・エクステリア

建物品質保証
20年

地盤品質保証
20年

設備保証
10年



※リフォームも住宅ローン10年保証+24h・365日対応のコールセンターサービスが特長です。